Next Season

次のシーズンの九博は……

特別展

オークラコレクション

会期 10月2日[火]▶12月9日[日]
展示場所 3階特別展示室

文化交流展特集展示

坂本五郎コレクション受贈記念
北斎と鍋島、そして

会期 9月12日[水]▶10月21日[日] 展示場所 4階 文化交流展示室

文化交流展特集展示

大宰府史跡発掘50年記念
大宰府研究の歩み

会期 9月12日[水]▶12月23日[日・祝] 展示場所 4階 文化交流展示室

文化交流展特集展示

平戸松浦家伝来の伊能図（ひらどまつらけ いのうず）

会期 10月30日[火]▶12月23日[日・祝] 展示場所 4階 文化交流展示室

などなど予定されています。次号もお楽しみに！

ロケ地:大宰府政庁跡

ACCESS

車

九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから高雄交差点経由で約20分

JR

JR博多駅からJR鹿児島本線（快速約15分）でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅（徒歩約12分、バス約6分）、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

西鉄バス

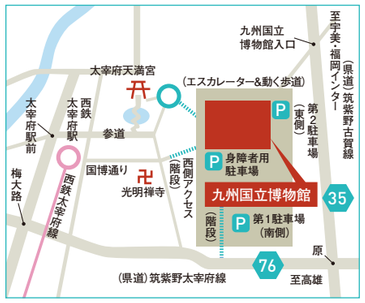
博多バスターミナル（1階11番のりば太宰府行き）から西鉄太宰府駅下車（所要時間約40分）、徒歩約10分

西鉄電車

西鉄福岡（天神）駅から西鉄天神大牟田線（特急約16分／急行約19分）で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線（約5分）で太宰府駅下車、徒歩約10分　※特急／急行料金不要

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。右記QRコードで携帯からもチェックできます。
※特別展会期中は混雑が予想されます。



INFORMATION

開館時間	9:30〜17:00（入館は16:30まで）、毎週金・土曜日は〜20:00（入館は19:30まで）
休館日	月曜日 ※7月9日、16日、8月13日、9月17日、24日は開館 7月17日、9月11日、25日は休館
文化交流展観覧料	一般／430円（220円） 大学生／130円（70円）★特別展は別料金
特別展観覧料	特別展：至上の印象派展　ビュールレ・コレクション 〈開催期間：5月19日（土）〜7月16日（月・祝）〉 一般／1,600円（1,400円）　高大生／900円（700円）★ 小中生／500円（300円）★ ★学生証等の提示をお願いします

※文化交流展観覧料は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
※文化交流展観覧料の（　）内は有料の方が20名以上の団体料金。※特別展観覧料の（　）内は前売り、有料の方が20名以上の団体料金および当日17:00以降販売の夜間割引料金。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて生年月日が分かるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証等）をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展（平常展）もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については（　）内料金でご購入いただけます。券売所にて生年月日が分かるもの（健康保険証、運転免許証等）をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については（　）内料金でご購入いただけます。券売所にて学生証、教職員証等をご提示ください。

KYUSHU NATIONAL MUSEUM
九州国立博物館
〒818-0118
福岡県太宰府市石坂4-7-2　太宰府天満宮横
ご案内 NTTハローダイヤル（8:00〜22:00／年中無休）
050-5542-8600 ※オペレーターが対応します。通話料が発生します。
www.kyuhaku.jp きゅーはく 検索

メルマガ、ツイッターでも楽しい情報を発信しています。メルマガ https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/　Twitter @kyuhaku_koho をフォローしてね！

九州国立博物館 季刊情報紙 アジアージュ Asiage Discoveries for modern people vol.49 2018年7月1日発行　発行：九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製（コピー）することは禁じられています。

北緯33度31分、東経130度32分からあなたへ

Asiage

Discoveries for modern people

Dazaifu 九州国立博物館 presents

Vol.49
アジアージュ

太宰府だからわかる日本があります

「九博（きゅうはく）」について知っておきたい9つのこと

東京、奈良、京都に次ぐ国内4番目の国立博物館として平成17年（2005年）に設立された九州国立博物館館内にて。

特別対談

「九博（きゅうはく）」について知っておきたい9つのこと

九州国立博物館（通称：九博）の広報誌「アジアージュ」は2005年創刊時のパイロット版0（ゼロ）号から数えて今号でちょうど50冊目。本紙の新しい親善キャラクターに就任した「ア・ミューズちゃん」から、九州国立博物館長・島谷弘幸さんに9つのクエスチョンをぶつけてもらいました。

50冊目のアジアージュ＊記念特別対談

Q1 「九博」ってどんな博物館なの？

「日本文化の形成をアジア史的観点からとらえる」というコンセプトのもとに作られた歴史系博物館です。何より私はここが皆さんの**憩いの場**であってほしいと思っています。そしてわかりやすく親しみやすい博物館でありたいと。展覧会やふだんの展示もそうだし、館内の施設やイベントを通してそれぞれの楽しみを見つけていただきたい。そんな場であることを目指してスタッフ全員で活動しています。

平成27年10月〜11月に開催された特別展「美の国 日本」ポスター。この九博オリジナルの展覧会は入場者数16万人を突破。

Q2 なぜ太宰府にあるの？

ここは古代日本において遠の朝廷（とおのみかど）と称された大事な行政機関があったところ。また博物館近隣の観世音寺には、下野（現在の栃木県）・薬師寺、奈良・東大寺とともに日本で三箇所だけの戒壇院、つまり正式な僧侶となるための戒律を授ける特別な施設が置かれていたんです。そして現代に至り、**「文化の神様」菅原道真公を祀る太宰府天満宮の傍らに国立博物館を！**という地元の皆さんの強い思いもあって、2005年に日本で4番目の国立博物館として設立されたというわけなんです。

毎年7月24、25日に太宰府天満宮で催される天神まつり。菅原道真公の誕生日が旧暦6月25日であることにちなんだもの。この祭りに合わせて、九博も20時まで開館を延長する。

Q3 建物のデザインに込められたものは？

ひとえに周辺環境、**自然との共生**です。ダブルスキンガラスという特別な構造によって収蔵品の保存環境を守りながら、自然光を館内にとりこみ、周囲の美しい山並みと調和した外観を演出する形と質感に仕上げられています。

敷地は太宰府天満宮の旧社領。近年、周辺の斜面に枝垂れ桜が約250本植樹され、さらなる美しい景色が期待されています。

Q4 いつもどんな展覧会をやっているの？

九博には現在、1000件を超える収蔵品があります。4階の「文化交流展示室」では、これらの収蔵品を中心にほぼ週単位でいずれかの展示変更を行い、タイトルを冠した**特集展示**も伴いながら、常に800件ほどを公開しています。3階の「特別展示室」では年に3〜4回、国内外の貴重な品々を集めた**特別展**を開催しています。

4階の「文化交流展示室」は5つのゾーンに分けられ、日本とアジア諸国との文化交流の歴史を、好きな時代、関心のあるテーマから自由に観覧することができます。

Q5 子どもでも楽しめるの？

もちろん！館内1階の「あじっぱ」は“アジアの原っぱ”の意味を込めた、**大人も子どもも楽しめるスペース**。アジア各国の文化を見て触れて、実際に使ったり衣装を着たりして実感できる九博ならではの体験型展示室です。また、年に3〜4回の特別展ではコミカルなイラストを交えた解説ボードやジュニアガイドなどを用意しています。

2018年2月〜4月の特別展「王羲之と日本の書」で使用された解説ボード。専任のスタッフが毎回わかりやすさ重視で制作。

Q6 外国の人でも楽しめるの？

九博の自慢は**ボランティア活動の充実度**。そのなかには英語・中国語・韓国語での館内概要と施設案内を行うスタッフがちゃんといます。ちなみに一般の方への展示案内、手話による案内や視覚障害者の方へのサポートも日々行われています。

九博のボランティアスタッフは13のグループからなり、常時60名ほどが活動中。

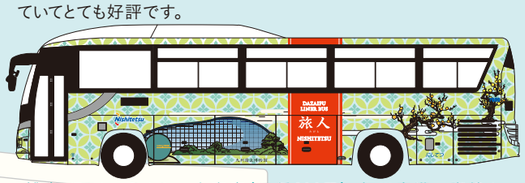
Q7 「九博」にあってほかにないものは？

やはり**太宰府天満宮**と壮大な歴史的バックグラウンドですね。この土地には天満宮のみならず「遠の朝廷」の象徴たる**大宰府政庁跡**、唐から帰った空海も身を寄せた**観世音寺**などなど貴重なスポットがいっぱいです。そうそう、近くの**四王寺山**中の**岩屋城跡**からは歴史の主役をかつて担った太宰府の盆地を一望でき、おすすめですよ。

四王寺山とは4つの山からなる山系の総称。同山中の大城山にある岩屋城跡の展望台もあり、昼夜ともに人気の絶景スポット。

Q8 「九博」にはどうやって行けばいいの？

列車だと西鉄太宰府線の太宰府駅が最寄り。駅から参道商店街、天満宮の境内を抜けて博物館に至る道は楽しいものですよ。福岡空港や博多駅からは**「旅人（たびと）」**という同駅直行のバスも運行していてとても好評です。



博多バスターミナル〜太宰府（運賃600円）、福岡空港国際線ターミナル※〜太宰府（運賃500円）を乗り換えなしで繋ぐ「太宰府ライナーバス 旅人」。

※福岡空港国内線から国際線ターミナルへは、無料シャトルバスが運行。

Q9 これから始まる新しいことは？

収蔵品が2017年に**1000件**を超えました。これはさらに充実させていきたい。昨春から始めた毎週金・土曜の開館時間を延長する「夜の九博」も好評につき今年も続行。参道の店舗や近くの小鳥居小路のおしゃれなレストランとの連携をもっとはかれたらと考えています。将来的な大計画にも着手しています。昨年太宰府を訪れた観光客の人数は約1100万人。より多くの方々を太宰府に、九博にお招きしたいと思います！

2017年、重要文化財「色絵松竹梅文瓶子（いろえしょうちくばいもんへいし）」をはじめとする古美術商・坂本五郎氏のコレクション259件が加わり、九州国立博物館の収蔵品は1000件を突破。

※「夜の九博」詳細はP05参照。

博物館だけど小難しくない。それが「九博」なんだね。アメージング！

みんなの憩いの場でありたい。そして楽しみを（アミューズメント）いっぱい届けたいと思います。

九州国立博物館長 **島谷弘幸**さん

東京国立博物館副館長を経て、2015年より九州国立博物館二代目館長。「わかりやすく、親しみやすい博物館づくり」がモットー。専門は日本書道史。

九州国立博物館「アジアージュ」キャラクター **ア・ミューズ**ちゃん

女性を神（ミューズ）に見立てつくられた土偶がモチーフ。そしてアミューズメント（楽しみ）を広げる役割を、という意味も込め名づけられた新キャラクターです。どうぞよろしく！

担当者が見どころ解説

絶対見てほしい特集展示は私のコレです

2018 JULY>SEPTEMBER
at 4階文化交流展示室

＊開館時間、休館日、観覧料については最終頁をご参照ください

九博の4階では研究員による個性的な視点とテーマ性に富んだ「特集展示」を開催しています。この夏はこちらの3つにご注目ください。

教科書に必ず登場する
銅鐸はコレ！必見です

SNS：#教科書の銅鐸

国宝 銅鐸絵画

交流課
主任研究員
進村真之

歴史の授業でおなじみの銅鐸。じつはその用途は謎に満ちたもの。一方銅鐸に描かれた絵画は弥生人たちの生活を知る貴重な手がかりです。なかでも神戸市出土の「桜ヶ丘4号・5号銅鐸」と「伝香川県出土銅鐸」（東京国立博物館蔵）は国宝に指定され、中学校教科書にはいずれかが必ず掲載されています。そんな“スター銅鐸”が九博にそろい踏みします！

国宝 桜ヶ丘5号銅鐸
（弥生時代・前2～1世紀／神戸市立博物館蔵）
トンボやイモリ、魚を食べるスッポンなどとともに、弥生人の営みを描いた絵画が楽しい。男性は○顔、女性は△顔に描き分けられています。

会期 7月10日火▸9月2日日　会場 4階 文化交流展示室　第1室

主催：九州国立博物館　神戸市立博物館
＊会期中、担当者によるミュージアムトークおよびワークショップなどあり

知られざる学校の名品と
考古学研究の成果をここに！

土面（どめん）
（縄文時代・3600年前／福島県立相馬高等学校蔵）
宗教的儀礼に用いられたと考えられる土面は東北地方の縄文時代の遺跡から多く出土。写真の土面は面の左半分が欠けている状態。昭和27年、福島県相馬郡の三貫地貝塚にて相馬高等学校の生徒が発見。

展示課 主任研究員
今井涼子

SNS：#高校考古

全国高等学校考古名品展2018

2014年、九博が国立博物館として初めて取り組み、3回目を迎えた本展。今回も全国の高等学校が所蔵する考古資料の中から新たな名品たちをご紹介します。名品たちの歴史的背景と高校生たちが考古学研究に取り組んで来た足跡をきっとヴィヴィッドに感じ取っていただけるはずです。

会期 7月21日土▸9月9日日　会場 4階 文化交流展示室　第3室

主催：九州国立博物館
＊会期中、「全国高等学校歴史学フォーラム2018」（8月4日（土）13時～16時）ほか担当者によるミュージアムトークなどあり

九博で修復が行なわれた
世界遺産・仁和寺（にんなじ）の秘仏を特別公開！
なんと撮影ＯＫです！

展示課長
楠井隆志

会期 7月3日火▸9月2日日　会場 4階 文化交流展示室　第11室

主催：九州国立博物館
協力：真言宗御室派総本山仁和寺　京都府教育委員会
＊会期中、担当者によるミュージアムトークあり

SNS：#仁和寺撮影OK

京都・仁和寺観音堂 千手観音像とその仲間たち

創建以来、1130年の歴史と京都有数の格式をもつ仁和寺。国の重要文化財である観音堂は、同寺最重要の儀礼が行われる道場として内部は非公開とされています。2012年からの観音堂保存修理事業に伴い、堂内に安置されていたすべての仏像は九博に輸送され、館内の保存修復施設で修理が行われてきました。そして今年、観音堂の保存修理竣工を記念し、堂内安置の本尊千手観音菩薩立像と脇侍・眷属像33軀を一堂に公開します。

千手観音菩薩立像（せんじゅかんのんぼさつりゅうぞう）

降三世明王立像（ごうざんぜみょうおうりゅうぞう）

雷神立像（らいじんりゅうぞう）

（いずれも江戸時代・17世紀／仁和寺蔵）
※この特集展示に限り写真撮影可能です。

現地の壁画も
高精細画像で
再現します！

九博親書

親書

太宰府の地より皆さまへ、
最新のおしらせと季節のおたよりをお届けします。

Letter from Kyuhaku | July – September, 2018

舞台

「弥生人現る!! ～101回目の米作り」上演

展示室内で体験する稲作ドラマ

先祖代々、米作りが苦手な一家に育った作郎が、米作り名人・米助の力を借りて101回目の米作りに挑戦。お米が大好きな弥生にプロポーズをするが、果たしてその結果は！？笑いあり、涙あり！弥生人の米作りの様子をドラマチックに演じます。

8月10日[金]18日[土] ①11:00～ ②14:00～ ③18:00～
場所 4階文化交流展示室内
参加料 無料（但し文化交流展示室の観覧料は必要）
※申し込みは不要。4階文化交流展示室に直接お越しください。
お問合せ 九州国立博物館 企画課 ☎092-918-2851

イベント

「あじっぱ夏祭り」開催

人気の展示室を拡大展開

五感を使って楽しめる体験型展示室「あじっぱ」が、ミュージアムホールに飛び出します。アジア各国の文化が身近に感じられる体験プログラムや工作教室を開催します。夏休みの思い出作りに、ぜひお子さんと一緒にご参加ください。

7月29日[日] 10:00～16:00
※コーナーによって16時よりも前に終了する場合があります。あらかじめご了承ください。
場所 1階 ミュージアムホール
お問合せ 九州国立博物館 交流課 ☎092-929-3294
参加料 無料（対象は中学生まで）

夜間開館

「夜の九博」、大好評

太宰府版ナイトミュージアム!

毎週金曜と土曜の開館時間を20時まで延長する「夜の九博」が大好評をいただいています。毎月第１土曜日には「夜の博物館たんけん隊」、第２・４土曜日に「夜のミュージアムトーク」も実施。また、夜間開館対象日に文化交流展示室（特別展開催期間中は特別展示室）へ入場された方には太宰府天満宮参道をはじめとする梅ヶ枝餅販売店で使える梅ヶ枝餅引換券をプレゼント。さらにオープンカフェ、館内および参道のミュージアムショップも金曜と土曜は同様に20時までオープン。「夜空の星も展示物になる」金曜日と土曜日、リピーターも続出中です。

講演

弥生人の描いた世界を解説!

「国宝 銅鐸絵画」展記念講演会

特集展示「国宝 銅鐸絵画」（詳細03頁）の開催を記念し、神戸市教育委員会より橋詰清孝さんをお招きして、銅鐸に描かれた弥生人の世界についての講演が行われます。人々と生き物が素朴かつ簡潔に描かれた絵画が示す弥生人のライフスタイルとは？ ぜひお楽しみに。

8月5日[日] 14:00～15:45
場所 1階ミュージアムホール
参加料 無料 先着順250名

募集

「九州国立博物館賛助会」会員募集のおしらせ

「九州に国立博物館を！」という100年の悲願を叶える形で、国内４番目の国立博物館として2005年に誕生した九博。そんな九博を応援していただいている皆さまの会員組織が「九州国立博物館賛助会」です。皆様からいただいたご支援は作品蒐集、教育普及活動などさまざまに有効活用させていただきます。毎年行われる定例の報告会にて皆さまとの交流の場もご用意しております。

お問合せ 九州国立博物館 総務課 ☎092-918-2842

団体会員（プレミアム会員）
◎公益財団法人 九州国立博物館振興財団

団体会員（特別会員）
◎藤仲興産株式会社
◎太宰府天満宮

団体会員（維持会員）
◎正筆会 ◎正晃株式会社

個人会員（プレミアム会員）
◎髙木千鶴子

個人会員（維持会員）
◎黒田建一 ◎髙木聖雨 ◎山口耕雲
◎井茂圭洞 ◎西高辻信良 （以上敬称略）

平成30年5月1日現在

本

人気の絵本が再登場します!

１階ミュージアムショップで販売中の「きゅーはくの絵本」シリーズ。ながらく売り切れていた人気作『月夜のおおさわぎ』（埴輪たちの物語）、『ぞくぞく ぞぞぞ』（水木しげる先生推薦）、『はらのなかの はらっぱで』（文／アーサー・ビナードさん）が再登場します。大人も楽しめる絵本の数々をこの機会にぜひ。

各1,080円（税込）／１階ミュージアムショップ

体験

はじめての茶道体験

一服で目と心を養う機会

恒例の「はじめての茶道体験」も今回で75回目。九博の茶室「宝満亭」で、茶室の造り、客としての作法、亭主としてのお点前までを気軽に体験できる会としてたいへんご好評をいただいています。中学生以上の茶道初心者の方ならばどなたでも参加可能です。（※7月9日より受付開始）

7月28日[土]
①11:00～12:00
②13:00～14:00
場所 茶室「宝満亭」（第二駐車場東側そば）
参加料 1名500円（菓子代・茶代込）定員 各回8名（先着順）
お問合せ 九州国立博物館 交流課 ☎092-929-3602

スポット

星に願いを

宝満宮竈門神社の七夕まつり

伝統的な神社建築とスタイリッシュな現代空間が同居する人気スポット「竈門神社」。8月は毎年恒例の「七夕まつり」が開催され、参道には200本の竹筒燈籠が夕暮れとともに灯されます。竈門神社でゆっくりと夜空を眺めながら、星に願いを託してみませんか？

8月7日[火]
お問合せ 竈門神社社務所 ☎092-922-4106
※コミュニティバスまほろば号の臨時最終便（20:45発）も運行予定です。

グルメ

涼感いっぱい、限定スイーツ

太宰府の天然水使用のわらび餅

１階オープンカフェでは、今年の夏季限定メニューとして太宰府の天然水を使用した抹茶わらび餅をご用意しています。食感、のどごしともに夏にぴったり。お茶処として知られる星野村産の八女抹茶を使ったシロップも香り豊かに涼感を運びます。

500円、コーヒーセット750円（ともに税込）／１階オープンカフェ

ショップ

ミュージアムショップのおいしい隠れ名品

１階ミュージアムショップは、特別展や特集展示に関連するグッズから九州各地の工芸品やデザイナー作品までバラエティに富んだ品揃えが自慢。中にはこんなグルメ的名品も。「糸島ピクルス」は最近全国的な地名度と人気も得ている糸島野菜を彩りよくふんだんに使った爽やかな隠れ人気商品。トマト、人参、大豆、きゅうり、そして各種ミックスの５アイテムが揃います。

各972円（税込）／１階ミュージアムショップ
（※季節により内容・種類の変更あり）

PR

参道の名店の定番スイーツ

「かさの家」の梅ヶ枝餅

夏季限定 抹茶セット 650円（税込み）

大正11年に太宰府天満宮参道の旅籠として創業した「かさの家」は、太宰府名物「梅ヶ枝餅」の販売店として代表的な存在。餅米とうるち米をほどよくついたもちでつぶあんを包んで焼いた素朴な味は、太宰府を訪れる多くの人々から長年愛される定番スイーツです。夏期は焼きたての「梅ヶ枝餅」に氷を浮かべたお抹茶で涼やかに香り高い一服を提供します。同店は古布やきものをリフォームした和小物などを揃えたギャラリーも併設。向かいに立つ御食事処では親子丼や松花堂弁当が参拝客の人気を集めています。

茶房・ぎゃらりー かさの家
㊟太宰府市宰府2-7-24（太宰府天満宮参道） ☎092-922-1010 ㊫9:00～18:00:00 無休

グルメ